

白糠消費者協会だより

《第6号》 令和8年9月8日 白糠消費者協会広報部☆
白糠消費者協会事務局（役場内）
☎ 2-2171（内線249）

料理講習会の開催について

日程等、決定しましたのでお知らせいたします。

日 時：令和8年10月27日（火）午前10時～

場 所：白糠町社会福祉センター 調理室

持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具

講 師：発酵スタジオ cip(チプ)

菅原 里圭 さん

牛乳・乳製品の知識や料理法を普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与することを目的としています。

今年の講習テーマは『牛乳・乳製品』

参加をご希望の方は 10月22日（木）まで、当協会事務局へご連絡をお願いします。【2-2171（内線249）】

会員の参加費は無料となっています。

なお、今年度は、非会員のご家族やご友人も、おひとり様500円の参加費で参加可能となっております。

みなさまお誘い合わせの上、ご参加ください。



次回の「白糠消費者協会だより」は10月13日発行です。



9月は「防災月間」です！



～もしもの時のために、備えてますか～

9月1日は「防災の日」、9月は「防災月間」です。
1923年に発生した関東大震災に由来します。一人ひとりに防災対策の重要性を理解してもらうため、制定されました。災害は起こる前の備えによって生存率を大きく高めることができます。災害が起こる前にできること（備え）を確認しておきましょう。

災害が起こる前にできること・備えておくべきもの

□ 飲料水・食料品の備蓄

飲料水は一人1日3リットルを目安に用意する。
食料は最低3日分、できれば1週間分を備える。
備蓄食品を少し多めに買い、古いものから食べる。（ローリングストック）



□ 非常用持ち出し袋

懐中電灯、予備電池、携帯ラジオ、救急用品、現金、健康保険証のコピーなど必要な物を家族で話し合い、リュックサックにまとめて、すぐに持ち出せる場所に保管しておく。



□ 生活用品

携帯トイレ、トイレトーパー、ウェットティッシュ、アルコール消毒液、カセットコンロ、食品用ラップなどを準備しておく、断水や停電時に役立つ。

□ 避難時の安全対策

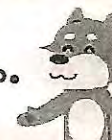
家具の固定～家具の転倒や落下を防ぐために配置を工夫し固定。
ハザードマップの確認～避難場所や避難経路を事前に家族で確認。
連絡方法～災害用伝言ダイヤル（171）の使い方や集合場所を話し合う。



実際に役に立った防災グッズ

- 携帯トイレ凝固剤タイプ（断水時に水洗トイレが使用できなくなるため、あると安心）
- 消臭機能付きゴミ袋（ゴミ回収が止まるため排泄物や生ゴミの臭いを遮断でき重宝）
- モバイルバッテリー（スマホの通信・情報収集に不可欠）
- LED ランタン（停電時の照明確保や避難時の安全確保に）
- 食品用ラップ・ポリ袋（お皿にラップを敷いて使えば、水洗いが不要）
- ウォーターバッグ（水の確保に、折りたためるタイプは非常時頼りになるアイテム）

参考にして



注意喚起!



親族かたりのオレオレ詐欺に注意!

本年8月18日、札幌市北区に居住する80歳代女性の自宅電話に、被害者の甥を名乗る男から「事業をするのにお金が必要、すぐ返すからお金を貸してくれないか、いくら用意できる?」などと電話があり、自宅保管の3,000万円があることを伝えると「今から別の者が取りに行く」などと言われ、自宅を訪れた男に現金3,000万円を手渡し、だまし取られる被害が発生。いまだに道内に受け子がいる可能性がありますので警戒してください。

電話の相手が例え親族を名のっていたとしても、突然お金を要求された場合は、詐欺を疑い、いったん電話を切って家族や警察に相談をしてください。

(配信:北海道警察本部生活安全企画課)

お金の話がでたら注意!

注意 高秘匿性アプリに誘導、証拠隠滅狙う詐欺



札幌市厚別区の80歳代女性が、警察官を名のる男から秘匿性の高い通信アプリ「Signal (シグナル)」の使用を指示され、2~6月に現金約9,700万円をだましとられた事件が発生しました。そのアプリはメッセージを自動で削除できる機能があり、北海道警察は詐欺グループが証拠隠滅を狙ったとみています。

札幌厚別署によると、女性の固定電話に2月、「携帯電話が不正契約されている」などと最初の連絡があり、その後、捜査2課をかたる男からシグナルのインストールを求められたとみられています。女性はアプリのチャット機能を通じ、送金先の口座番号や名義を伝えられていたということです。

道警によると、特殊詐欺では連絡手段として電話や通信アプリLINE(ライン)が使われるケースが大半で、シグナルが使われるのは珍しい。履歴が残りにくいため、交流サイト(SNS)を介した「闇バイト」の内部連絡にも悪用されており、同署は「捜査を遅らせる狙いがある」とみえています。組織犯罪対策企画課は「警察官はアプリやSNSでは連絡しない」と強調し、不審な連絡があった場合は下記への相談を呼びかけています。(8月北海道新聞掲載記事より)

迷わず相談!! 警察専用ダイヤル#9110



見守り 新鮮情報



普段から利用しているアプリの名前でスマホにメールが届いた。「登録している支払い方法に確認が必要な状態」「更新が遅れるとストアでアプリが購入

©Kurosaki Gen

できなくなる」などを書いてあったので、記載のURLからアクセスして、クレジットカード番号等を入力し支払い情報を更新した。ところがその後、ネットショッピングで約20万円の利用を知らせるメールが届いた。

どうしたらよいか。
(80歳代)

日頃利用している 事業者からのメールも フィッシングを疑って

ひとこと助言

● 実在する事業者をかたるメールやSMSを送信し、そこに記載されたURLをクリック等させ、偽のウェブサイトに誘導することで、パスワードやクレジットカード番号などを詐取するフィッシング詐欺に関する相談が依然として寄せられています。日頃利用している事業者や公的機関などのメールやSMSであっても、まずはフィッシングを疑いましょう。

● 記載されているURLにはアクセスせず、事前にブックマークした正規サイトのURLや、正規のアプリからアクセスしましょう。リンク先にアクセスしてしまっても、クレジットカード番号などは入力せず、そのサイト上にあるアプリもダウンロードしないことが大切です。

● 不正利用に早く気づけるように、クレジットカード等の明細は、こまめに確認しましょう。

● 困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

そのメール
フィッシングかも



見守るくん

本文イラスト:黒崎 玄

見守り新鮮情報 第550号(2026年9月3日)発行:独立行政法人国民生活センター